

中核市への移行に係る総務省ヒアリング概要

日時	平成 31 年 (2019 年) 1 月 18 日 (金) 13 : 00 ~ 14 : 50
場所	総務省 10 階 共用会議室 1
出席者	<p>総務省 自治行政局 市町村課 公務員課</p> <p>大阪府 市町村課</p> <p>吹田市 行政経営部 中核市移行準備室 大山理事・岡松室長・佐野主幹 総務部 人事室 井田室長・中村参事・伊藤参事</p>
内容	<p>◆市の概要説明 (市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の基本情報</li> <li>・中核市移行に向けた準備組織の設置状況</li> <li>・中核市移行後の組織体制、人員体制</li> <li>・府から市への移譲事務の引継ぎ体制、市から府への職員派遣状況</li> <li>・保健所の設置方法や整備状況</li> </ul> <p>◆質疑応答</p> <p>①給与制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給与水準について</li> </ul> <p>②定員管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数の増減について</li> </ul> <p>③中核市移行に向けた手続や移譲事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所の引継体制や改修予定について</li> <li>・府内の検査業務の集約化について</li> </ul> <p>④行革の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託や指定管理について</li> </ul> <p>◆総括 (国)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府と連携して、概ね順調に準備を進められているとの印象を持った。</li> <li>・市民に最も近い行政機関である市が、今までできなかった業務を市民のためにやっていくのが、市民にとっても大きなメリットではないかと考える。</li> <li>・単なる事務移譲の受け皿にとどまらず、市のブランドを活かして独自の取組や展開を行ってほしい。</li> <li>・府とのコミュニケーションをとって、円滑に手続を進めてほしい。</li> </ul>